

ブレイクスルー パートナーズ株式会社 Breakthrough Partners

ブレイクスルーパートナーズは、圧倒的な競争力を持つ「日本発の世界的ベンチャー」を生み出し育てること、また「日本発の世界的企業」の経営改革を徹底支援し、経営者のビジョン実現のお手伝いをすることを使命としています。どちらも、企業経営におけるブレイクスルーを全面的にお手伝いしたい、という私どもの使命感、価値観に基づくものです。大企業・中堅企業の新事業立ち上げ、スピンアウトベンチャー、大学発ベンチャーへのご支援にも、積極的に取り組んでいます。

ベンチャーにおいては、情報技術、通信、インターネット、家電、環境・代替エネルギー（太陽エネルギー利用、太陽電池、燃料電池、リチウムイオン電池、大容量キャパシタ、電気自動車）などの分野で、システム、ソフト、キーコンポーネント、半導体、サービスなどを対象として、新しいハードやソフトのアーキテクチャー、ナノテクノロジー、新材料など、大きなインパクトをもたらす新技術の活用を重視しています。

独創的な技術力に裏付けられたユニークな製品やサービスのアイデアを基に、市場を創造する画期的な新製品を持った世界的なベンチャーを育てたいという、極めて高い志と熱意をお持ちの創業者をご支援します。

シリコンバレーと日本の双方のベンチャー事情、経営環境、文化・社会的背景を熟知し、豊富な国際経験、世界最高といわれるコンサルティングファームのパートナーとしての長年の経験、徹底したプロフェッショナルリズムとポジティブ思考に裏打ちされたご支援を提供します。

「日本発の世界的企業」を目指して経営改革を進めておられる経営者に対しては、ご自身のビジョンと経営哲学への深い理解の上で、現実とのギャップに基づき課題整理をさせていただきます。さらに、あるべき姿への具体的なステップを描きます。

執行役員、部長等、経営幹部の意識合わせ、意識・行動改革の具体的な方法についてご説明し、経営者の強いコミットメントとサポートのもとで推進します。全社一丸となって経営改革が進むよう、戦略立案、実行計画作成、組織改革、人材育成にいたるまで、全面的かつ具体的にご支援させていただきます。

ベンチャー創業を志す方々、すでに創業されたベンチャー社長の方々へ

ご自分の夢を目に見える形で事業ビジョンとして表現し、その達成に向けた具体的な戦略・行動計画を立案・実行されることは、ベンチャーを成功させる第一歩です。

私どものご支援の結果、これまでのご自身での努力や他社からの支援に比較して決定的に質の異なる、説得力ある合理的な事業計画を目の当たりにされ、驚かれる方がほとんどです。創業者のお考えを整理し自信を深めていただくだけでなく、社員・外部への説明も効果的にできるようになります。これまで伝えようとしても伝えられなかったもどかしさが大きく解消されることと思われまます。

その事業計画をベースに、会社にとって望ましい株主からできるだけ有利な形で資金調達を実現します。社員の採用、社外取締役の人選・確保、戦略パートナー企業との提携など、ベンチャーとしての早期の体制強化も平行して進めます。

さらに、顧客ニーズを徹底して把握した上での製品企画・開発を進め、ベンチャーとして迅速に意思決定ができ、事業計画通りの急成長が実現するよう、全面的にご支援します。世界水準の一流会社を目指すには、社員を奮い立たせる目標設定・評価・スキル開発の具体的な仕組み、ベンチャーとしての行動規範・価値観の早期確立が大切です。

創業後数年のベンチャーでは、事業・製品の全面的な見直し、社長のスタイル変更まで踏み込んだ徹底した経営革新、戦略的思考・問題解決能力の大幅向上などを必要とする場合が多く見られます。社長の志が高く問題意識が強い場合のみ、こういった「第二の創業」が可能となります。ブレイクスルーパートナーズのパートナーは、この分野でも世界トップクラスのノウハウ・経験を持ち、きめ細かくかつ具体的なアドバイスを提供します。

説得力のある事業計画の作りこみ、共同創業者としての会社設立・立ち上げから、新事業の企画・立案・遂行まで、当事者意識を持ち、徹底的に入り込んでご支援致します。いわゆる「コンサルタント」や「アドバイザー」に飽き足らなかった方々はぜひ一度ご連絡ください。

また、事業に大きなインパクトを与える、意識・行動改革、組織改革、経営者育成、事業部長やリーダーの問題解決力・コミュニケーション力の向上、上司としての部下コーチング力、マネジメント力の圧倒的な向上等に関して、個々人の意識・行動に踏み込んだ非常にユニークなプログラムをご提供しています。

ベンチャー、事業創造、経営改革等に関する企業、大学・大学院等での講義・講演も活発に行っております。

■ 世界的な環境・代替エネルギー問題を日本にとって絶好のチャンスととらえる

2009年1月19日

■ CEDEC2008（日本最大級のゲーム開発者カンファランス）ラウンドテーブルでの講演

「中小ゲーム開発会社のコンテンツ開発のための資金調達」

2008年9月10日

■ IT-PLUS 新清士のゲームスクランブル

「中小ゲーム会社に新市場到来・参入の残り時間はわずか」（ホームページ）

2008年9月12日

「中小ゲーム会社に新市場到来・参入の残り時間はわずか」（ダウンロード用PDFファイル）

■ ベンチャービジネス実践論 北陸先端科学技術大学院大学での講義

「ベンチャービジネス創出論」

2008年11月1日

✧ 総務省 事業計画作成とベンチャー経営の手引き（弊社で作成を担当しました。）

ブログで紹介いただきました。どうもありがとうございます。

■ 株式会社プロノバ 代表取締役 岡島悦子様
事業計画作成のバイブル誕生！

■ 株式会社アプレッソ CTO小野和俊様
総務省「事業計画作成とベンチャー経営の手引き」がすごい件

■ ビムーブ株式会社 代表取締役 伊藤靖様
総務省が発表した「事業計画作成とベンチャー経営の手引き」凄いです！

■ ITエンジニアの独立開業大成功日記様
総務省「事業計画作成とベンチャー経営の手引き」はベンチャーの必読書！

✧ 総務省 事業計画作成支援コースの運営とベンチャー支援上のポイント（弊社で作成を担当しました。）

✧ ICTベンチャー人材確保ガイドライン（本ガイドラインの構成、作成に大きく貢献しました。）

✧ ブレークスルーパートナーズのご紹介

✧ Introduction of Breakthrough Partners

✧ 急成長をねらうベンチャーの創業時に目指すべき水準

✧ ブレークスルーパートナーズのハンズオン支援

✧ 経営上の深刻な課題解決を支援した例

✧ 説得力ある合理的な事業計画を作成するには

✧ 投資家への効果的な説明のしかた

✧ ベンチャーを成功に導く問題解決能力

✧ ベンチャー失敗事例と成功への方策

✧ ベンチャー失敗事例と成功への方策（THINK！原稿版）

✧ 新事業創出・成功するスピナウトベンチャー創出への取り組み

✧ 大学周辺に有望なベンチャーが続々と生み出されるためには？

ブレイクスルーパートナーズ株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング3F

代表電話：03-6721-8160 / ファクス：03-6721-2020

JR浜松町駅北口を出て横断歩道を渡り、右側に50mほど行くと、大きな広場があります。
その広場の右奥の汐留ビルディングです。

ビル中央に3階に上がる専用エレベーターがありますので、3階のオフィシアにお出でください。

森廣 弘司

Koji Morihiro

略歴紹介

携 帯 090-2656-4569
電 話 03-6721-8161

赤羽 雄二

Yuji Akaba

略歴紹介

携 帯 090-6103-5593
電 話 03-6721-8162

お問合せ先：info@b-t-partners.com

森廣 弘司

1983年 富士通株式会社入社。半導体部門にて海外の顧客・提携先とのビジネス開拓を担当。

1986年から1991年まで米国法人にBusiness Development Managerとして駐在。

1988年 Fujitsu Microelectronics社の最優秀営業支援賞を受賞。企業買収、海外メモリー開発拠点の設立、世界最大の化合物半導体工場を設立する為のビジネス開発など、富士通半導体部門として初めての試みに数多く関わる。米国西部最大手コンピューターメーカーと戦略提携を成立したことで1995年社長賞受賞。

1996年 電子デバイス国際統括営業部 新規ビジネス開発課長に就任。

1997年 米国シリコンバレーのベンチャーキャピタルTechfarm社にパートナーとして入社。グローバルに競争力のあるハイテクベンチャーの創業・経営支援・投資に従事。ベンチャーファンド1号から3号の調達・運用に大きく貢献。ハンズオンで上場・成功買収まで支援したベンチャーは日本支社の役員を務めたCobalt Networks社（1999年NASDAQ上場）の他に3Dfx Interactive社（1997年上場）、Resonate社（2000年上場）、Netmind社（2000年 Puma Technologies社が買収）、HotRail社（2000年Conexant社が買収）。

2002年 日本発で世界競争力のあるハイテクベンチャーの創業・経営支援に注力するためブレイクスルーパートナーズ株式会社を共同創業。ニューコアテクノロジー社（2007年MediaTek社が買収）、Inovys社（2007年Verigy社が買収）、ファイベスト社は創業時から取締役を務め会社立ち上げに大きく貢献した。その他、世界競争力のあるベンチャー企業数社の創設、経営、事業開発に深く関わる。

1982年 米国Cornell大学物理学学位課程、および、工学部材料工学学位課程修了。

赤羽 雄二

東京大学工学部を1978年3月に卒業後、小松製作所で建設現場用の超大型ダンプトラックの設計・開発に携わる。企業派遣で1983年から1985年までスタンフォード大学 大学院に留学し、機械工学修士、修士上級課程（MS、Degree of Engineer）を修了。帰国後、超大型ダンプの分野では世界初のセミアクティブ・サスペンションを開発し、実車試験を進めた。

1986年、世界的コンサルティング会社マッキンゼーに入社し、経営戦略の立案と実行支援、新組織の設計と導入、マーケティング、新事業立ち上げなど多数のプロジェクトをリードし、クライアント企業の大規模な経営革新を支援。当初日本企業へのコンサルティングを主としたが、1990年から10年半にわたってフルタイムで韓国企業、特に財閥の経営指導に携わるとともに、マッキンゼーソウルオフィスをゼロから立ち上げ、120名強に成長させる原動力となった。インドネシア・中国など、アジア各国の企業へのアドバイスも多数。

その間、1997年末から1998年にわたってのアジア経済金融危機においては、債務不履行寸前の大混乱時に直ちに対応策を打ち出し、韓国政府・大統領へのマッキンゼー提言の基礎を作った。取締役会の革新などコーポレートガバナンスの確立も、最近の日本の動きを数年先取りして具体化した。

2000年、シリコンバレーのベンチャーキャピタル、テックファームに入社。次いで2002年1月、2人のパートナーと独立し、創業前、創業当初からの非常にきめ細かな支援を特徴とするブレイクスルーパートナーズ株式会社を共同創業。日米での投資経験豊かな森廣弘司とともに、実体変革とスキル構築を主とする豊富なコンサルティング経験と、シリコンバレーのトップクラスのベンチャーキャピタルでの実績・ノウハウを合わせ、「日本発の世界的ベンチャー」を1社でも多く生み出すことを使命として多方面で活躍中。情報通信・IT・半導体などの分野で、革新的な技術をベースに説得力のある事業構想・戦略を描き、市場の構造変化を先取りするベンチャーを立ち上げる。

ベンチャーへの投資、連携なども含む大企業の実体変革にも深く関わっている。会長・社長の立場を踏まえた効果的な助言・コーチング、役員・経営幹部の育成、人材開発委員会など人事制度の設計・導入支援、日々の意思決定を適切にかつ迅速に行うための制度設計・導入支援など、多面的に実体変革を推進している。

また、産学連携への関心も高く、主要地域の大学教官、学生団体、産学連携支援グループに幅広いネットワークを持つ。その関連で各地域での講演も多数。経済産業省「産業競争力と知的財産を考える研究会」委員、総務省「ITベンチャー研究会」委員、総務省「ICTベンチャーの人材確保の在り方に関する研究会」委員、総務省「ICTベンチャー事業計画作成支援コース」企画および講師、北陸先端科学技術大学院大学ベンチャービジネス実践論 講師等を歴任。

講演資料ダウンロード

■ ベンチャーキャピタルが持つべきハンズオン支援能力

■ 情報通信研究機構 情報通信ベンチャー支援センター

「めざせ成功ベンチャー」 インタビュー 第4回 (ホームページ)
「めざせ成功ベンチャー」 インタビュー 第4回 (ダウンロード用PDFファイル)

■ Recent Changes in Venture Environment in Japan

■ 第1回 産学官連携推進会議「大学発ベンチャーの育成」分科会での発表

「地域活性化の起爆剤として、有望なベンチャーを1社でも多く生み出し、成功確率を上げるためにはどうすべきか？」 2008年8月1日

■ 第2回 EFJ/VECセミナー（第47回EFJセミナー）での講演

「技術ベンチャーの陥りやすい問題点と対策」 2008年7月22日

■ ベンチャービジネス実践論 北陸先端科学技術大学院大学での講義

「ベンチャービジネス創出論」 2007年9月26日

■ ベンチャービジネス実践論 北陸先端科学技術大学院大学での講義

「ベンチャービジネス創出論」 2006年9月27日

■ 起業家相互支援クラブ21 第18回例会での講演

資料1： VC、エンジェルにアピールするビジネスプランの書き方 2004年5月19日
資料2： VCから資金調達をするポイント、VCとの付き合い方・活用法
資料3： ベンチャーを成功に導く問題解決能力
資料4： ベンチャー失敗事例と成功への方策

■ 第3回 日本知財学会 知財ビジネス分科会研究会、第16回 ビジネスIPR勉強会での講演

「ハイテクベンチャー成功のポイントと知財への取り組み」 2003年12月6日

■ レーザー学会東京支部セミナーでの講演

「日本発の世界的ベンチャーを創出するには」 2003年11月7日

■ 第7回 起業家経営塾 通信・放送機構 情報通信ベンチャー支援センター主催

「ベンチャーキャピタルの活用法」 2003年10月20日

■ 情報処理教育研修助成財団（FINIPED）機関誌2003年9月号

「日本発の世界的ベンチャーを創出するには」 2003年9月1日

■ 電気通信大学 平成15年度ベンチャービジネス特論

資料1： 日本発の世界的ベンチャーを創出するには 2003年7月9日
資料2： 大学発ベンチャーの促進
資料3： スピンアウトベンチャー促進への取り組み
資料4： ベンチャー失敗事例と成功への方策
資料5： 問題解決のための思考と技術

■ 大学発ベンチャー創業支援研修会議での講演

「大学発ベンチャー支援の本格化を目指して」 2003年3月19日

■ 第8回 アジア太平洋科学技術マネジメントセミナーでの発表

(今回は産学連携をテーマにアジア太平洋地域の15カ国参加により韓国にて開催)
「Issues regarding Start-ups in Japan」 2003年3月11日
「Issues regarding Start-ups in Japan」 発表要旨 (英語)
「大学発ベンチャーに関わる諸課題」 発表要旨 (日本語)

■ 四国産学官連携シンポジウムでの講演	
「アントレプレナー、ベンチャーを支えるコミュニティの作り方 ー大学発ベンチャーの促進メカニズムと産・学・官が果たすべき役割ー」 セミナー講演録	2003年1月31日
■ 四国産学官連携シンポジウムでの講演	
「大学発ベンチャーを促進し、成功させるために」	2003年1月11日
■ 中国留日同学総会 企業家協会での講演	
「留日企業家・留学生への期待とチャンス」	2002年12月1日
■ 第2回 広域関東圏大学発ベンチャー推進懇談会での講演	
	2002年9月10日
■ スピンアウトベンチャー促進への取り組み	
	2002年7月15日
■ 戦略的思考・問題解決能力向上のためのマネジメント研修プログラム	
「問題解決のための思考と技術」	2002年6月28日
■ 第1回 産学官連携推進会議「大学発ベンチャーの育成」分科会での発表	
「大学を核としたベンチャー創出・イノベーションコミュニティの作り方」	2002年6月15日
■ 第10回 日本MITエンタープライズ・フォーラムでの講演	
「失敗から学ぶベンチャー成功への方策」	2002年6月12日
■ BLS 第3回 BESTS2002での講演	
「理工系学生にとって、『ベンチャー』の意味合いが大きく変化した」	2002年6月8日
■ 経済産業省「産業競争力と知的財産を考える研究会」での発表	
「知的財産に関する論点の整理」	2002年6月5日
■ 第6回 アジア科学技術会議での講演	
「研究成果をいかに事業として成功させるか」	2002年5月20日
■ JCIセミナーでの講演	
「失敗事例から学ぶベンチャー成功の方策」	2002年3月27日
■ 知財国・日本の夢を語る学生サミットでの講演	
「学生に期待すること」	2002年3月9日
■ ATI Student Entrepreneurship Conferenceでの講演	
「Aspiring to Start a Venture」	2001年9月9日
■ 起業問題研究会での講演	
「ベンチャー起業への取り組み」	2001年6月26日
■ 第1回 JASVAファイナンスセミナーでの講演	
「ハイテクベンチャーの起業」	2001年5月17日
■ IAIジャパン セミナーでの講演	
「韓国のベンチャー起業環境と日本への意味合い」	2000年12月8日

【資料に関するお問い合わせ】

赤羽 雄二
(あかば ゆうじ)

携 帯： 090-6103-5593
ファクス： 03-6721-2020
akaba@b-t-partners.com

※ 2001年以前の講演資料には現職ブレイクスルーパートナーズを表記した